

オリンピックは終わりました。

トライアスロン競技では、会場の汚い不潔な水が映され、

我が国の浄水技術レベルの低さと、環境問題への鈍感さを世界中が知りました。

国内だけでなく海外からまで「何故、POLY-GLU は会場の浄化に協力しないのか?」、「日本の恥ではないか」と、お門違いのお叱りを受けています。

政府内にも東京都にも、ゼネコンの技術者の中にも「POLY-GLU を利用すれば、数日で湾全体を浄化出来る」事を知っている人は多いのです。

大阪の恥とさえ云われる、汚い道頓堀は特定の業者に毎年、100億円以上も浄化工事費用を支出しているのです。僅か100分の1の予算で、弱小企業の POLY-GLU に奇麗にされたのでは、橋下徹氏も、吉村知事も面目丸つぶれでしょう。

福島汚染水問題も構図は同様です。特定業者の利権を優先した為に解決出来ないのです。

水の浄化技術・安全性・コストの優劣は「数時間の実験で素人の市民の皆様にも充分ご理解いただけます」私は実験・討論に公開の場であれば応じると、公言しています。近々、海外での湖沼の浄化工事を行います。海外で無ければ、我が国では公開施工の機会さえ与えてくれません。

こう書けば悔しさのあまり、卑怯にも偽名で誹謗中傷をしてきます。技術に関わる企業、技術者ならば、

堂々と組織を明かして、本名で持論を述べて討論を挑んで欲しいものです。

こうした卑怯者も、家庭にあっては「良いお父さん」だと思います。しかし、組織の為なら卑怯者にも、血税を食う事も平気なんですね？

8月7日周南市の工場を訪れた折、回天記念館を訪ねました。国を想い決死の覚悟で突撃された英霊の遺品・遺書は涙なしでは見れず読めません。

私自身、英霊に恥じぬ日常を過ごしているのかと、悔い堕ち込み沈んだ気持ちで、出撃用トンネルを抜けて馬島を離れました。

昨日は、自身が体験した長崎原爆投下記念日でした。それらもあって、前文で過激な発言も致しました。

YouTube等では過大な評価をいただいています。しかし、20歳前後で祖国を護りたい一念で、散って逝った青年達に比べ、私など何にも出来ずにいます。

9, August, 2021 小田兼利